

会員組合・組合員企業の課題解決に 向けた支援を積極的に展開しました ～令和元年度本会実施事業を振り返って～

本会では、基本理念である「強い組合・強い企業づくり」を一層推進するため、令和元年度も組合事業運営の強化に向けた「組合活力向上事業・研修会」や青年部の育成強化を目的とした「青年部研究会事業」について14組合を対象に実施したほか、外国人技能実習生を受け入れている13組合を対象に「外国人技能実習制度適正化事業」を実施し、会員組合・組合員企業の課題解決に向けた支援を積極的に展開しました。

本号では、今年度の事業内容や成果の一部をご紹介します。

組合活力向上事業・研修会

－ビジョンに基づくアクションプランの策定－

大館市御成町二丁目商店街振興組合(木村幹人理事長)

【背景・課題】

当組合では、アーケードの撤去・LED街路灯の設置により、懸案であった施設老朽化への対応に目途がつき、平成28年度には全国商店街支援センターの支援を受け、「笑顔あふれる若者が集い、伝統文化が活きる街を！」をコンセプトとした将来ビジョンを策定しました。しかし、ビジョンに基づく具体的な取組には至っておらず、組合事業(販売促進事業等)の活性化が課題となっていました。

【事業内容】

大館市の観光交流施設「秋田犬の里」がJR大館駅前にオープンするなど、当商店街の周辺環境が大きく変化したことから市の玄関口に位置する商店街として、停滞している販売促進事業等の活性化に向けて、周辺環境の変化等を踏まえたビジョンの見直し、アクションプランの策定に関する支援を行いました。

【事業実施により得られた成果】

組合員同士で具体的かつ現実的な話し合いができたことで、生の意見をもとに受け身ではないアクションプランが策定できました。プランの実行が自店の販売促進につながっていくという認識を共有できたことが一番の収穫でした。

組合活力向上事業・研修会

－次世代へ引き継ぐための経営の磨き上げを実施－

企業組合ほっと(渡會みほ子理事長)

【背景・課題】

当組合は、介護保険法に基づく介護サービス事業者として通所介護事業(デイサービス)を中心に事業を行ってききましたが、設立から約20年が経つことから、次世代に経営を引き継ぐための事業の磨き上げと収益性の強化が課題となっていました。

【事業内容】

当組合の強みを分析したところ、外部から理学療法士を招いて通所リハビリを10年以上にわたり実施していることによる保有技能の高さと、持ち帰り弁当を提供できることが市内では非常に珍しい大きな強みであることが分かりました。しかし、その強みは認知度が低いことも分かったため、地域の居宅介護事業所などへチラシを利用してPRを行いました。

【事業実施により得られた成果】

PRを行ったことですぐに新たな利用者を確保でき、自分たちの強みを認識することができました。また、コスト面の再点検を行った結果、過剰な人員を配置している作業も分かり適正化することができ、次世代へ経営を引き継いでいくための基礎を固めることができました。

青年部研究会事業

－制作作業効率向上のためのスキルアップ－

秋田県印刷工業組合印刷産業ビジョン研究会(鶴田典治会長)

【背景・課題】

冊子やパンフレット制作で利用される印刷物データ制作ソフト「InDesign(インデザイン)」は、青年部所属企業全社に導入され、その編集機能は多岐にわたっています。データ制作において、同ソフト活用による制作作業効率の向上効果は大きいですが、多機能がゆえに、各社およびデザイン担当者ともその操作スキルにバラつきがあり、ソフトの機能性を十分に生かしきれていない状況でした。

【事業内容】

次世代を担う青年部員及びデザイン部門の従業員を対象とした「InDesign」の編集操作における機能を学ぶ技術研修を実施しました。

【事業実施により得られた成果】

「InDesign」の応用的な操作方法や時短テクニックなど、現場ですぐに活用できる手法を取得したことで、参加者の所属する企業では有効活用が図られています。また、編集機能や操作のポイントに関するノウハウが蓄積することができました。

青年部研究会事業

－技術力と施工品質の向上－

大館管工事業協同組合水青会(畠山直大会長)

【背景・課題】

当業界では、工事量の減少や価格競争の激化などにより企業収益が圧迫されており、組合員企業が今後も生き残りを図っていくためには、効率的かつ確かな施工を行うことで信用力を維持・向上させていく必要があります。特に次世代を担う青年部員をはじめ、施工作业に携わる現場技術者が共通の認識の下に、各社の技術力と施工品質を向上させていくことが課題となっていました。

【事業内容】

次世代を担う青年部員をはじめ、施工作业に携わる現場技術者が効率的かつ確かな施工の実施に向けて、今後重要性が増すと考えられる鋼管の腐食・漏水等の発生原因・メカニズムとその対応及び施工現場における現物合わせ加工への対応力の向上にむけ最適な施工技術を学ぶための研修を実施しました。

【事業実施により得られた成果】

現場での施工技術に加え、鋼管に対する基礎的な内容についても学んだことで、今後、各社の技術力の強化によって施工品質の向上が期待されます。



経営力強化支援事業

－インキング技術による修正率の向上－

能代山本繊維協同組合(秋田丸善繊維株式会社)

【背景・課題】

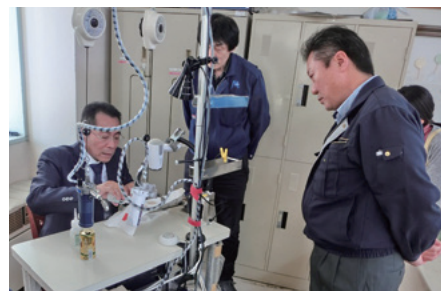
縫製工場では、原材料として納品される生地にプリントミスがあると自らが裁ち替えや縫い直し等の修正作業を行う必要がある。当社では、平成28年度に組合全体で行った研修会でインキング技術による生地修正の基礎技術を学び自社で生地修正を行っているものの、現在の技術力では対応できない複雑な事例が多く、修正率は全体の3割に留まっているため、裁ち替えや縫い直し等の修正作業が増加することによる納期の遅延や原価アップによる利益の低下が課題となっていました。

【事業内容】

生地修正率の向上を図るため、生地修正における課題の確認と課題解決に向けた修正技術に関する対応策及び修正作業の標準化に向けた取組を行いました。

【事業実施により得られた成果】

インキング技術について基礎から学ぶことができ、修正率の向上が図られました。また、生地の擦れ(打痕)修正やしみ抜き技術を学び生地修正に対するバリエーションも増えたことで、社内での修正件数の増加が見込まれています。



外国人技能実習制度適正化事業

－外国人技能実習制度の適正な運用の推進－

【背景】

外国人技能実習生共同受入事業を実施する事業協同組合(監理団体)並びに組合員(実習実施者)には、事業の適正な実施と不正行為の防止に努めることが求められています。

【事業内容】

社会保険労務士と本会指導員が、監理団体(13組合)並びに組合員企業(24社)を訪問し、事業の適正な実施に向けて対応すべき事項について確認しました。また、事業の適正化に積極的に取り組む県内外の監理団体の事例研究を目的に講習会を開催しました。

【事業実施により得られた成果】

監理団体・実習実施者の実態把握と事業の適正な実施に向けた個別アドバイスや、実務を担う講師から実習生との向き合い方や日本語の勉強の仕方、やってはいけない失敗例、送出国の状況を聴講できたことで、改善事項を確認することができました。